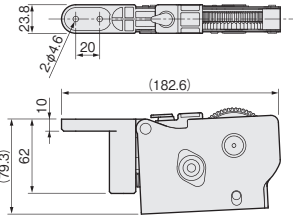
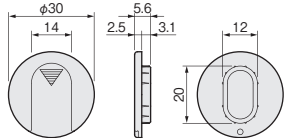
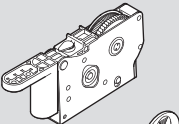
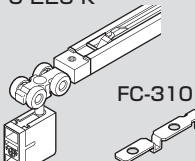
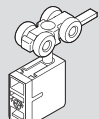
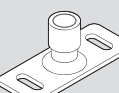


品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税別)	入 数
FC-101-40S 		●引クローザー本体 [材 質] PC、POM、銅 [仕 上 げ] 亜鉛メッキ [添付ねじ] +トラスタッピンねじ 4×30 2本	¥24,800	20ヶ
FC-101-C 		●化粧カバー [材 質] ABS [仕 上 げ] DG色、MG色、SB色、白	注文コード 253418 SB ¥500 注文コード 253422 DG ¥500 注文コード 253423 MG ¥500 注文コード 253424 白 ¥500 注文コード 253425	100ヶ

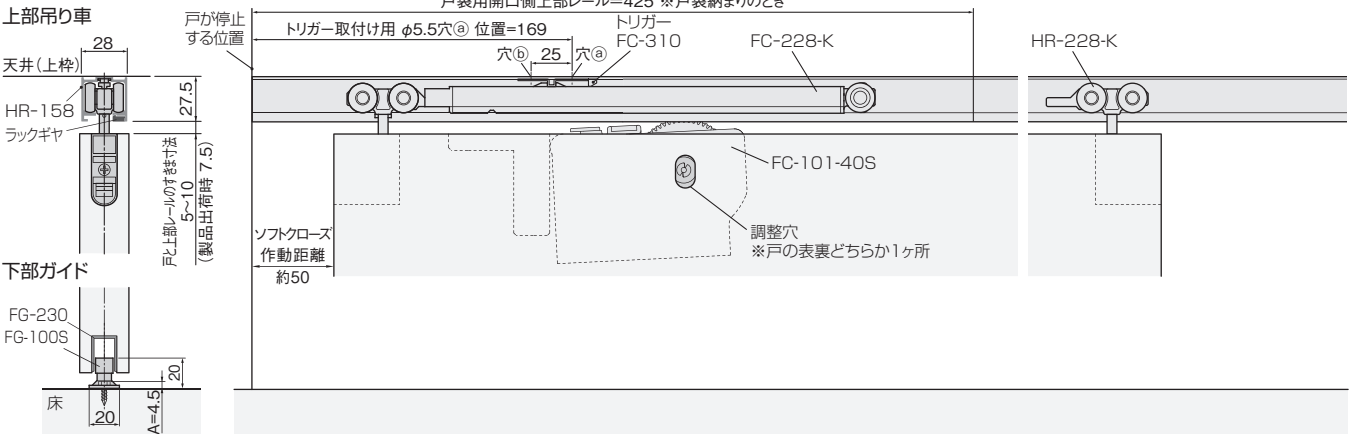
品 番	製品寸法図	用途・材質・仕上	価格(税抜)	入 数
FC-228-K		●ソフトクロス上部吊り車 戸を吊ったままの状態で＋ドライバーにより戸の上下調整ができます。 【ベアリング】 金属ベアリング 【材 質】 本 体：PA66、PBT、銅 カップ：亜鉛合金 車 輪：POM、銅 ケース：ステンレス FC-310：ステンレス 【仕 上 げ】 DG色、ホワイト 【添付ねじ】 FC-228-K：＋なべタッピンねじ 3.5×30 3本 FC-310：＋皿小頭タッピンねじ 4×16 2本	DG ¥10,200 注文コード 264372 白 ¥10,300 注文コード 264373	20ケ
HR-228-K		●上下調整付き吊り車 戸を吊ったままの状態で＋ドライバーにより戸の上下調整ができます。 【ベアリング】 金属ベアリング 【材 質】 本 体：PA66、PBT、銅 カップ：亜鉛合金 車 輪：POM、銅 【仕 上 げ】 DG色、ホワイト 【添付ねじ】 ＋なべタッピンねじ 3.5×30 3本	DG ¥3,600 注文コード 264370 白 ¥3,700 注文コード 264371	10ケ
HR-158		●上部レール 【材 質】 レール：アルミ押出し材 ラックギヤ：PC 【仕 上 げ】 シルバー 【ね じ 穴】 φ5.5穴 φ7.5皿 【ねじ穴間隔】 両端より15mm、300mm間隔 ご 注 意 「←戸先」シールの貼ってある側はカットしないでください。	1,800mm ¥11,500 注文コード 264364 2,700mm ¥17,500 注文コード 264365	20本 10本
HR-158TB		●戸袋用開口側上部レール 戸袋納まりのときに使用します。 開口側に必要な穴加工済みレールです。 【材 質】 アルミ押出し材 【仕 上 げ】 シルバー 【ね じ 穴】 φ5.5穴 φ7.5皿、φ5穴(トリガー取付用) 【ねじ穴間隔】 穴数3戸先端部より60mm、175mm間隔 【サ イ ズ】 425mm	¥1,800 注文コード 264366	30本
FG-100S		●下部ガイド 【材 質】 銅、SUS430、POM 【仕 上 げ】 スズコバルトメッキ、白 【添付ねじ】 ＋六角(対辺7)タッピンねじ4×16 2本 ※前後調整には専用の工具AFD-600が必要になります。	¥500 注文コード 262446	40ケ
AFD-600		●専用スナバ FG-100Sの前後調整をするための工具です。 【材 質】 銅 【仕上げ】 クロメート	¥220 注文コード 080490	50ケ
FG-230		●下溝用ガイドレール 【材 質】 アルミ押出し材 【仕 上 げ】 シルバー 【ね じ 穴】 φ5穴 φ7.8皿 【ねじ穴間隔】 穴数6 両端より30mm、約288mm間隔	1,000mm ¥1,650 注文コード 264376 1,500mm ¥2,500 注文コード 264377	50本

■使用金具 ※下記以外の金具は使用しないでください。

引戸の形式	使用金具の種類		上部レール	引戸用クローザー	ソフトクローズ 上部吊り車	上部吊り車	下部ガイド	下溝用 ガイドレール	価格(税抜)
	HR-158	FC-101-40S	FC-228-K	HR-228-K	FG-100S	FG-230			
		 FC-101-C 	 FC-310 				ソフトクローズ 上部吊り車・ 上部吊り車は DGを使用の 場合		
1本引き(戸袋なし)		1,800mm 1本	1セット	1セット	1ヶ	1ヶ	1,000mm 1本	¥52,750	

設計ガイド

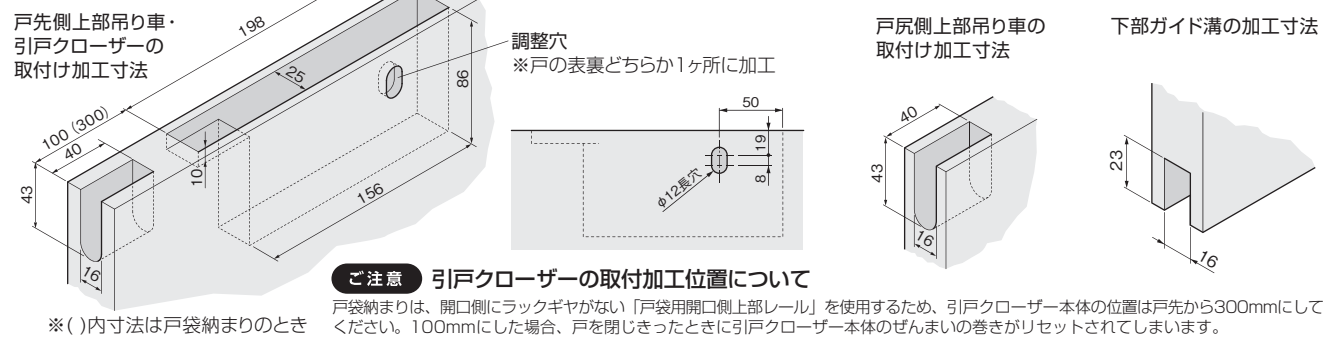
■金具の納まり参考図



●戸の高さ寸法の求め方

戸の高さ = 枠の内寸高さ - 上部レールの高さ - 戸と上部レールの最大すきま寸法(上図参照) - 3mm - A
※上式で戸の高さを求めることにより、戸と上部レールのすきま寸法範囲で戸の上下調整ができます。
※上式の3mmは、戸を下に調整した際、戸を下部ガイドに接触させないための逃げ寸法です。

■戸の加工寸法参考図



●注意 引戸クローザーの取付加工位置について

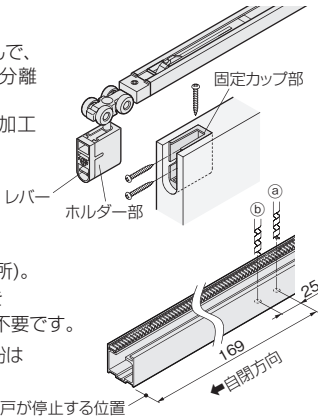
戸袋納まりは、開口側にラックギヤがない「戸袋用開口側上部レール」を使用するため、引戸クローザー本体の位置は戸先から300mmにしてください。100mmにした場合、戸を閉じきったときに引戸クローザー本体のぜんまいの巻きがリセットされてしまいます。

施工ガイド

■金具の取付け方

1. 上部吊り車の取付け

- ホルダー部のレバーをつまんで、固定カップ部とホルダー部を分離します。
- 固定カップ部のみ、戸の木口加工部に取付けてください。



2. レールの穴あけ

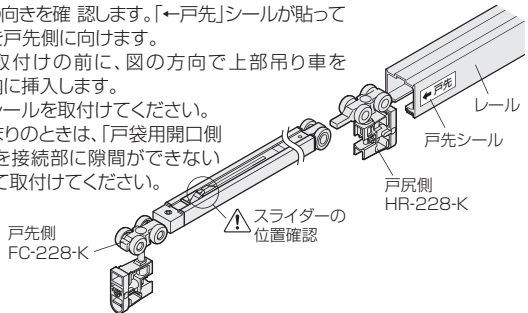
- レール芯の所定位置⑥にφ5.5の貫通穴をあけます(2箇所)。※「戸袋用開口側上部レール」を使用する場合、上記の穴加工は不要です。

●注意 レール内に残った切り粉は取除いてください。

3. レールの取付け

●注意 上部レールは「←戸先」シールの貼ってある側はカットしないでください。

- スライダーが図の位置になっているか確認します。なっていない場合は、押し当てて戻しておきます。
- レールの向きを確認します。「←戸先」シールが貼ってある方を戸先側に向けます。
- レール取付けの前に、図の方向で上部吊り車をレール内に挿入します。
- 上枠にレールを取付けてください。
- 戸袋納まりのときは、「戸袋用開口側レール」を接続部に隙間ができないようにして取付けてください。

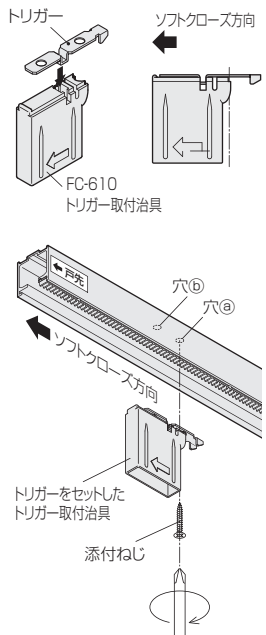
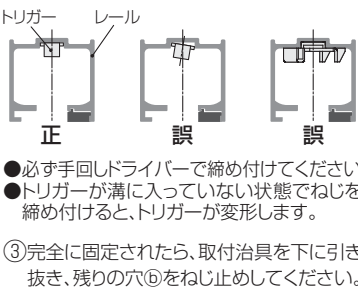


4. トリガーの取付け

- トリガーをトリガー取付け用治具にセットします。
- 穴⑥に、右記治具を図に示す方向でレール内部に押し込み、添付ねじでトリガーを固定します。

●注意

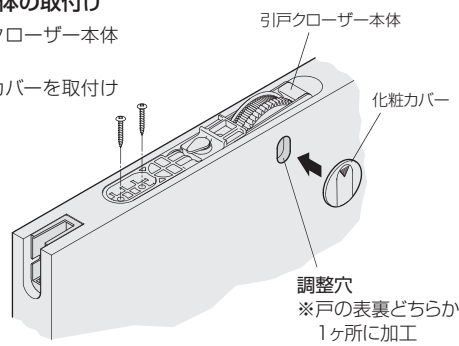
- 治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当て続けてください。
- トリガーをレールに取付けたときにトリガーがレール内の溝にまっすぐ入るようにしてください。



施工ガイド

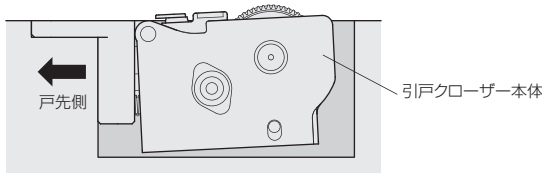
5. 引戸クローザー本体の取付け

- 戸の加工部に引戸クローザー本体を取付けます。
- 戸の調整穴に化粧カバーを取付けます。



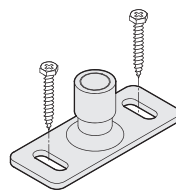
●注意

引戸クローザー本体を戸先側にしっかり押し当てながら固定してください。



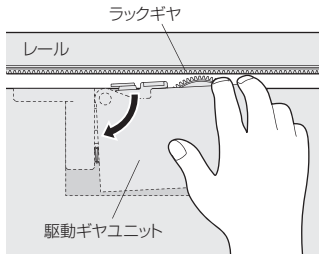
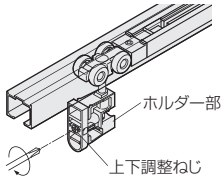
6. 下溝用ガイドレール・下部ガイドの取付け

- 戸に下溝用ガイドレールを取付けます。
- 下部ガイドを床の所定の位置に取り付けてください。垂直に戸が吊り込めるよう、取付け位置に注意してください。

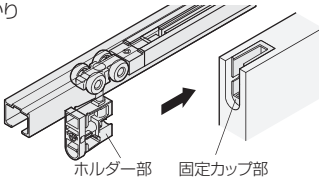


■戸の吊り込み

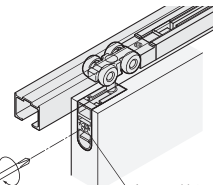
- 上部吊り車のホルダー部の上下調整ねじを左に回し、最下位置まで下げます。
- 戸の下部のガイド溝を、下部ガイドに差込みます。



- 固定カップ部にホルダー部をしっかりと差し込みます。※しっかりと差し込み、抜けないことをご確認ください。



- ホルダー部のねじを回し、戸を適正な位置まで調整してください。ホルダー部のねじを回すと戸の上下調整ができます。※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



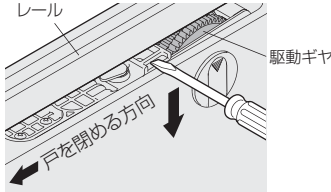
※ソフトクローズの速度調整はできません。

■引戸クローザーの設定

●注意

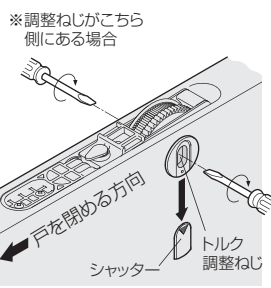
初期状態では、自閉駆動力は適正ではありません。引戸クローザーの設定をする必要があります。この操作は必ず、引戸を吊り込んだ状態でおこなってください。

- 戸を手動で閉めきってください。



- レールと戸の隙間から、駆動ギヤユニットをマイナスドライバーなどで押し下げると、駆動ギヤが回転します。回転が自然に止まると、ぜんまいの巻きがリセットされます。

- 化粧カバーのシャッターを下にスライドさせてはずします。
- マイナスドライバーで、駆動ギヤの側面にあるトルク調整ねじを、矢印の方向へ回します。2周回するのが標準の駆動力となります。
- 調整後、シャッターを化粧カバーに嵌め込みます。



■引戸クローザーの調整

引戸が閉まりきらない場合

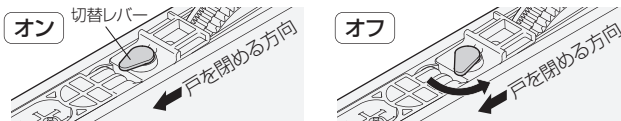
- 戸がどこかに干渉して、摩擦抵抗が発生している場合があります。戸に干渉する箇所がないようにしてください。
- レールのラックギヤと駆動ギヤの噛み合わせが合わず、空回りしている場合は、吊り車を上下に調整して、噛み合うようにしてください。
- 以上の問題が解消しても閉まりきらない場合は、上記「■引戸クローザーの設定」を参照し、トルク調整ねじを回して駆動力を強めてください。調整する際は、戸が閉まる速度をこまめに確認しながら調整してください。

引戸を開ける時に重い勢いよく閉まってしまう場合

- 上記「■引戸クローザーの設定」の手順を最初からおこなってください。調整する際は、戸が閉まる速度をこまめに確認しながら調整してください。※駆動ギヤユニット保護の為、トルク調整ねじを弱方向に回そうとしても、ドライバーの歯が引っ掛からず、回せないようになっております。

■フリーストップ機能のオンとオフ

戸を閉めた状態で切替レバーを傾けると、フリーストップ機能をオフにすることが出来ます。



●注意

この操作は戸を閉めきった状態で行うようにしてください。それ以外の状態で操作を行うと、金物が破損する恐れがあります。